



GMBREPORT

第55期 中間報告書

平成28年4月1日 ▶ 平成28年9月30日

株主の皆様へ

TO SHAREHOLDERS

中国や欧州拠点からの新車用部品の現地納入が本格化。新設拠点での量産や円高進行の影響などで採算が改善し、順調に利益回復。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、第55期(平成28年4月1日～平成29年3月31日)上半期の中間報告書をお届けいたします。

当期の上半期における経済状況は、わが国においては、円高による企業収益の悪化や、個人消費の減退など、景気の足踏み状態が続いております。海外においては、米国経済は堅調に推移したものの、中国などの新興国における経済成長の鈍化が続き、欧州では英国のEU離脱問題を機に政治面での先行きに対する不安感が広がるなど、世界的な景気の不透明感が続いております。また、自動車業界においては、中国やインド、欧州といった市場で新車販売が好調に推移するなど、世界規模では拡大基調を継続しております。

このような環境の中、当社グループにおいては、中国や欧州拠点からの新車用部品の販売が引き続き順調に推移し、新設拠点では量産効果により採算も改善しました。また、日本における輸入コストの減少やタイ工場の輸出採算の改善など円高進行の影響も受けました。

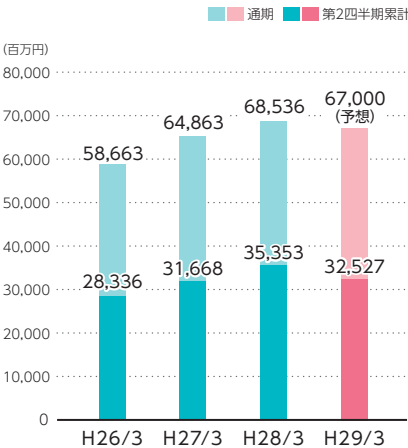
この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が32,527百万円(前年同四半期比8.0%減)、営業利益は1,240百万円(同181.3%増)となり、経常利益は961百万円(同105.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は518百万円(前年同四半期は114百万円の損失)となりました。

代表取締役会長 松岡 信夫 代表取締役社長 阪口 有一

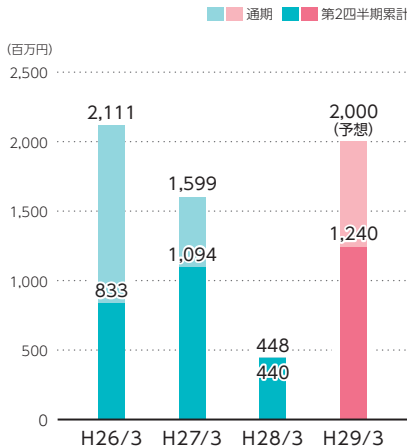
財務ハイライト

FINANCIAL HIGHLIGHTS

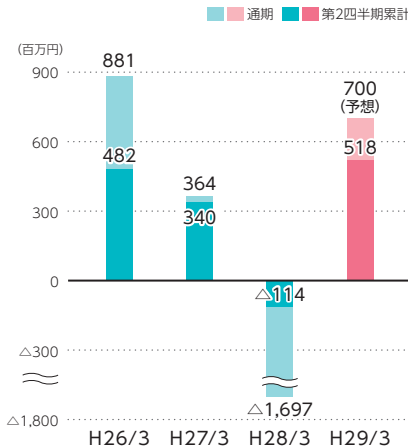
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(△損失)

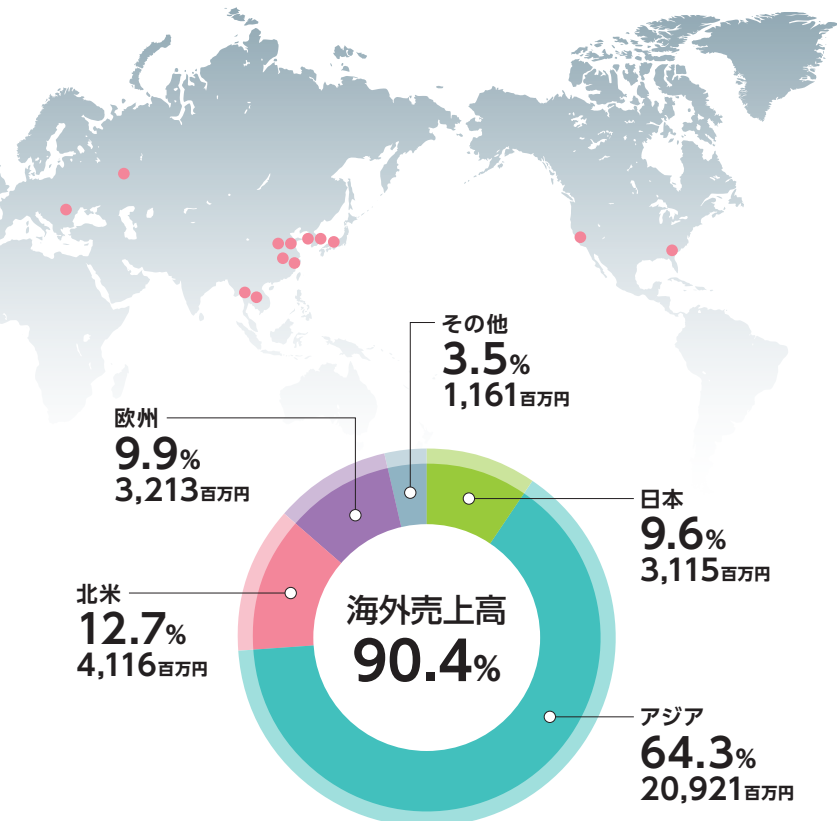


GMBブランドは、世界の自動車市場で

GMBの供給体制

Global Supply System

GMBは独立系の自動車部品メーカーとして、いち早く海外展開を進めながら、製品によっては世界トップレベルの量産規模を誇るまでに成長しております。海外のグループ生産拠点を有効活用して、グローバルでタイムリーな製品供給ニーズに対応することができます。



(平成29年3月期 第2四半期累計地域別売上高)

GMBの製品

GMBグループは、独立系の自動車部品メーカーとして、駆動・伝達系やエンジン部品といった多様な機能部品を、新車用部品と補修用部品の両市場に向けてグローバルに製造・販売しております。

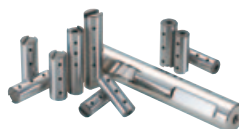
駆動・伝達及び操縦装置部品



ユニバーサルジョイント



ステアリングジョイント



ピニオン・シャフト



サスペンション

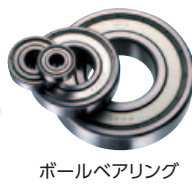
ベアリング



テンショナーベアリング



アイドラーベアリング



ボールベアリング

■ 連結財務諸表

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

● 連結貸借対照表

(単位:百万円)

| 科目 | 当第2四半期末 平成28年9月30日現在 | 前期末 平成28年3月31日現在 |
|---------------|-------------------------|---------------------|
| 流動資産 | 31,625 | 36,068 |
| 固定資産 | 25,756 | 29,259 |
| 資産合計 | 57,381 | 65,327 |
| 流動負債 | 22,783 | 26,251 |
| 固定負債 | 9,590 | 11,476 |
| 純資産合計 | 25,007 | 27,599 |
| 負債及び 純資産合計 | 57,381 | 65,327 |

POINT

上半期は、韓国・中国の生産拠点の生産能力の拡充を中心に、約17億円の設備投資を実施いたしました。

● 連結損益計算書

(単位:百万円)

| 科目 | 当第2四半期累計 自平成28年4月1日 至平成28年9月30日 | 前第2四半期累計 自平成27年4月1日 至平成27年9月30日 |
|---------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 売上高 | 32,527 | 35,353 |
| 営業利益 | 1,240 | 440 |
| 経常利益 | 961 | 467 |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益(△損失) | 518 | △114 |

POINT

中国や欧州拠点からの新車用部品の販売が順調に推移し、新設拠点の量産効果が円高進行などの影響で採算が改善し、営業利益は前年同四半期比で181.3%増加しました。

● 連結キャッシュ・フローの状況 (単位:百万円)

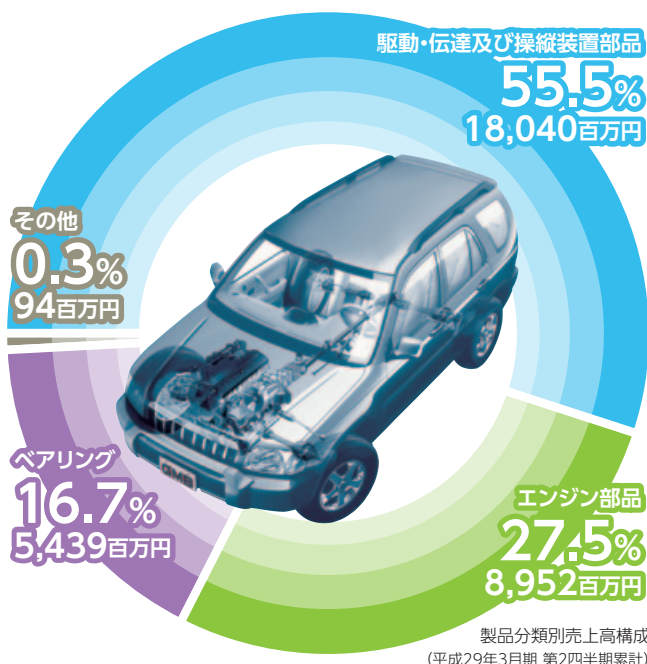
| 科目 | 当第2四半期累計 自平成28年4月1日 至平成28年9月30日 | 前第2四半期累計 自平成27年4月1日 至平成27年9月30日 |
|------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 営業CF | 3,834 | △364 |
| 投資CF | △2,329 | △2,668 |
| 財務CF | △1,097 | 1,030 |

POINT

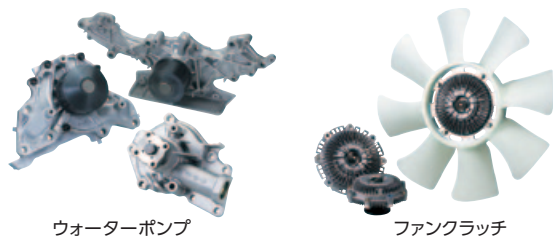
純利益が増加したことに加え、売上債権やたな卸資産の減少などにより営業キャッシュ・フローが改善しました。

活躍しています。

Products Introduction



エンジン部品



ウォーターポンプ

ファンクラッチ

GMBの成長戦略

Growth Strategy

いち早く海外展開を進めながら、製品によっては世界トップレベルの量産規模を誇るまでに成長しております。タイムリーな製品供給ニーズに対応することができます。

重点施策



安定した収益力の確保

1

厳しい競争環境が続く補修部品事業においては、不採算取引の見直しや、コスト削減、物流改善による収益改善を進め、新設拠点においては、本格的な量産体制を確立しつつ、現地調達比率を高めるなど、早期黒字化に努めていきます。



次の成長の柱を育成

2

環境規制の強化や燃費効率へのニーズの高まりに対応して、自動車に関連する技術も日々進化しております。GMBも機械部品・精密加工部品から電動化部品へ、さらにはモジュール部品へ開発の領域を広げ、次世代に向けた研究開発を推進していきます。

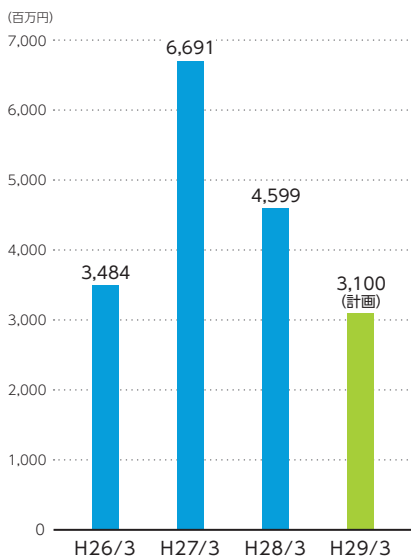


グローバル営業強化

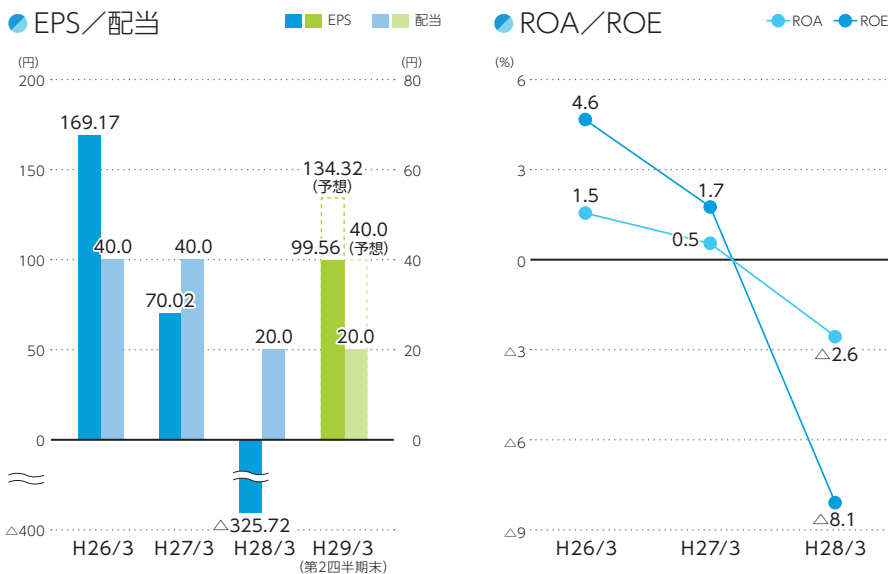
3

既存製品の拡販による安定した生産量の確保をめざし、新規顧客の開拓をグローバルに推進します。特に、中国と欧州は複数の生産拠点の有効活用が可能であり、日本については、日韓が協力して新たな顧客の開拓をめざし、重点市場として営業活動を強化していきます。

設備投資の状況



配当および経営指標

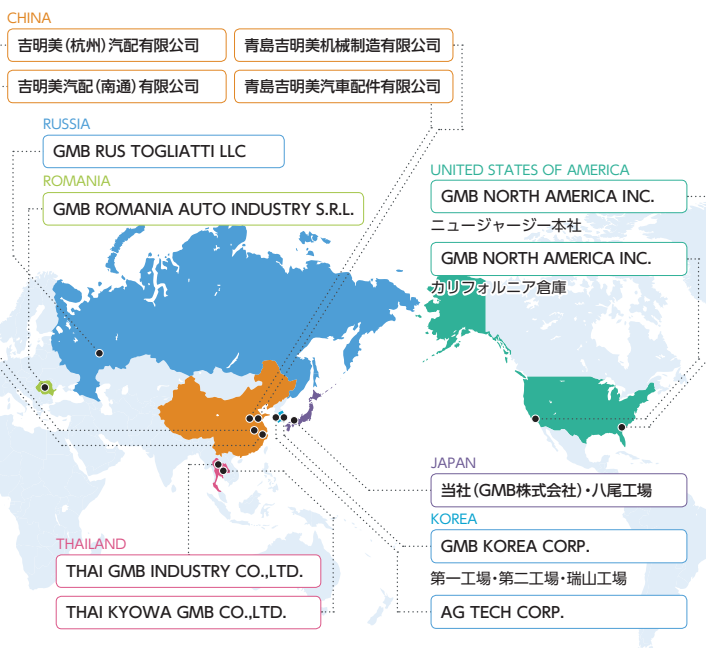


会社概要 (平成28年9月30日現在)

COMPANY PROFILE

商号 GMB株式会社
 会社設立 昭和37年5月
 資本金 838,598,000円
 代表者 代表取締役会長 松岡信夫
 代表取締役社長 阪口有一
 従業員数 連結 2,716名 単体 357名
 事業所 本社・奈良工場
 〒636-0295 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3
 TEL.(0745)44-1911(代) FAX.(0745)44-1930
 Web Site <http://www.gmb.jp>
 八尾工場
 〒581-0814 大阪府八尾市楠根町4丁目36番地3号
 TEL.(072)997-1521(代) FAX.(072)997-2481

GMBネットワーク



ホームページのご案内

ホームページでも当社の会社情報や最新のIR情報がご覧いただけます。

▶ <http://www.gmb.jp>



株式の状況 (平成28年9月30日現在)

STOCK INFORMATION

発行可能株式総数 19,000,000株
 発行済株式の総数 5,212,440株
 株主数 2,552名
 大株主

| 株主名 | 持株数(株) | 持株比率(%) |
|-----------|-----------|---------|
| 松岡 信夫 | 1,096,775 | 21.0 |
| 松岡 光子 | 416,375 | 8.0 |
| 松岡 栄子 | 240,350 | 4.6 |
| GMB従業員持株会 | 190,870 | 3.7 |
| 松岡 祐広 | 120,000 | 2.3 |
| 松岡 祐吉 | 109,125 | 2.1 |
| 金本 順子 | 98,750 | 1.9 |
| 庄司 聖吾 | 93,250 | 1.8 |
| 松岡 百合子 | 86,625 | 1.7 |
| 具 綾子 | 80,000 | 1.5 |

(注) 持株比率は、小数第2位以下を四捨五入して表示しております。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社
 大阪証券代行部
 〒541-8502
 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 TEL 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所
 公告の方法 電子公告により行う
 公告掲載URL <http://www.gmb.jp>
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。)
 証券コード 7214

●ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。